



JICA-SATREPS プロジェクト  
ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to-bedside system”構築と  
新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト



プロジェクト開始、研究活動に関する MOA に合意！  
(2019 年 4 月 25 日)

はじめまして、「ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to-bedside system”構築と新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト」が 2019 年 4 月から始まりました。4 月 3 日から長期専門家が国立熱帯病病院(National Hospital for Tropical Diseases) のプロジェクトオフィスに勤務を始め、いよいよ活動が開始されます。

ベトナムにおける HIV/AIDS は、一時期の急激な感染者数増加はひと段落しているものの、引き続き多くの方が苦しんでいます。2017 年末段階でも 22~28 万人の HIV 感染者がいるといわれ、病気そのものと共に、社会的な偏見もまだ無くなってはいません。近年の新規感染者では薬物使用者、そして男性同性愛者の間での HIV 感染が増えるなど、この国の社会問題として課題はまだ多いです。

その一方、HIV ウイルスに感染しても、きちんと治療を続け、抗レトロウイルス薬を用いた治療 (ART) と呼ばれる薬を飲み続けければ、HIV ウイルスの発生量を抑え、AIDS 発症を防ぐことができるなど、HIV/AIDS をめぐる医療環境も大きく変わっています。ただし、薬は生涯にわたり飲み続けなければならず、長期的な治療、治療状況のモニタリング体制構築が不可欠です。

ベトナムが中進国化していく中、自らの医療保険制度でこの ART 治療を地方省、特に県病院を中心に行っていくことを決めたベトナム。その中で、きちんとした治療が地方でも行われていくかを追っていきけるモニタリングシステムの構築、そして中央から地方病院までの HIV/AIDS 治療に関する能力向上が大事になってきます。それを支援しようというのが、今回の JICA プロジェクトの大きな命題の一つです。

今回 4 月 25 日に、このプロジェクトのベトナム側実施機関であるベトナム国立熱帯病病院 (NHTD) と、日本側の実施機関である国立国際医療センター (NCGM)、熊本大学が、研究の具体的内容を記載した Memorandum of Agreement (MOA) に合意しました。これを基礎に、今後プロジェクトによる研究協力、技術協力活動が始まっていきます。



ベトナム側実施機関となる NHTD と MOA に署名



プロジェクト実施のパートナーとなる HMU とも  
MOA に署名



JICA-SATREPS プロジェクト  
ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to-bedside system”構築と  
新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト



これに先立つ4月24日には、今回のプロジェクトの重要な協力機関でもある、ハノイ医科大学とも同様にMOAに署名しました。ハノイ医科大学が現在実施している男性同性愛者を対象とした研究にJICAも協力し、PrEPと呼ばれる、HIVウイルスに暴露する前の予防療法に関する研究協力を行うものです。

今後、5年間のプロジェクト実施期間中、HIV/AIDS患者のより効果的な治療のため、また新規感染者を防ぐ努力に対し、プロジェクトとして協力していこうと思います。是非皆様のご支援を、どうぞ宜しくお願い致します！